

# 災害時の相互協力

平成 18 年 6 月 16 日

国土交通省中部地方整備局

# 複合型災害防災実動訓練 実施について (平成18年5月21日)

中部地方整備局主催による、日本で初めて行う大雨・地震・台風の複合型災害を想定した  
防災実動訓練

参加機関: 24機関(愛知県・名古屋市・弥富市等)

参加人数: 約600人(弥富ふ頭会場)、同時開催した名古屋市内の水防訓練を含めると約6,000人

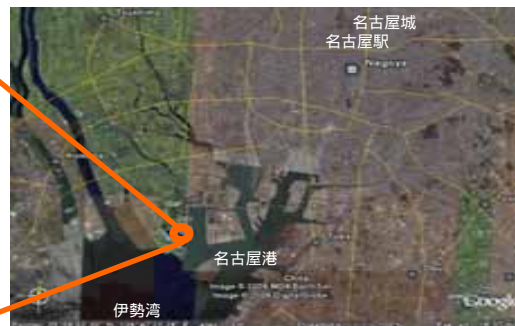


国土交通副大臣・愛知県知事・名古屋市長ほかが出席

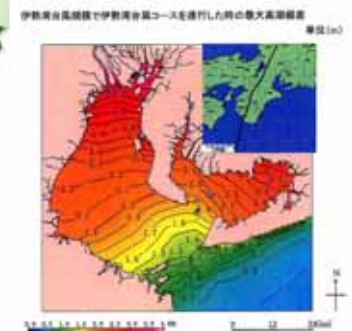


齋藤宏保中部大学教授と  
辻本哲朗名古屋大学教授  
による解説

メイン訓練会場(愛知県弥富市 弥富ふ頭及び海上)



東海・東南海地震(M8.6級) + 超大型台風  
(高潮)を想定



# 複合型災害防災実動訓練 実施状況

台風接近による  
前線降雨対応

想定シナリオ

名古屋市内及び周辺地域の中小河川で水位が急上昇し、各水防団が水防活動を実施

水防訓練



弥富市・飛島村の消防団は、模範堤防において積み土の工を実施



内水地区の排水の為に、排水ポンプ車の設置



東海・東南海  
地震被害対応

想定シナリオ

東海・東南海地震が発生。名古屋市周辺地域は激しい揺れによる各種被害と共に、高潮防波堤等には液状化による被害が発生

情報提供・水門閉鎖訓練



地震発生により水門を閉鎖

救出・患者搬送訓練



土砂埋没車両からの救助訓練



救出された患者をトリアージし、応急処置を実施

# 複合型災害防災実動訓練 実施状況

台風接近による  
前線降雨対応

東海・東南海  
地震被害対応

## 道路啓開・緊急復旧訓練



陸上自衛隊による道路啓開作業



啓開のための道路規制を実施



ライフラインの復旧作業

## 浸水被害者救助訓練



海上保安部のヘリで浸水者を救出・搬送



愛知県警のヘリによる救助訓練

## 海上・港湾施設啓開訓練



海上保安部の消防船による船舶火災消火訓練



清龍丸による油回収訓練

# 複合型災害防災実動訓練 実施状況

台風接近による  
前線降雨対応

東海・東南海  
地震被害対応

高潮被害に備えた  
対応

## 想定シナリオ

超大型台風が伊勢湾に接近中。高潮被害に備え、関係機関が連携して緊急物資の輸送を行うとともに、大規模に沈下した高潮堤防等の緊急応急復旧作業を実施

## 緊急物資輸送訓練



海上保安部巡視船による緊急物資輸送訓練



ヘリによる輸血用血液の緊急輸送訓練



陸上自衛隊車両による緊急物資輸送

## 高潮・堤防等沈下修復訓練



自衛隊大型ヘリによる大型土嚢を用いた堤防の緊急応急復旧訓練



クレーン車による大型土嚢を用いた堤防の緊急応急復旧訓練

## 閉会式

中部地方整備局長



# 複合災害に備えよ!

地震・水害



土砂に埋まった車両からの救助訓練(21日、愛知県弥富市)

## 愛知県警など600人が訓練

国土交通省中部地方整備局は二十一日、愛知県弥富市で、大型台風と複合災害に備えるための訓練を実施した。訓練は、愛知県警、消防、自衛隊、関係機関が参加して実施された。訓練は、大雨で河川の水が上昇しているところ、東海・東南海地震が発生したところ、土砂に埋まった車からの救助は、愛知県の発生も予想される。県警の広域緊急援助隊が機材を使ってドアを外し、車内に入り込んで救出した。訓練は、大雨で河川の水が上昇しているところ、東海・東南海地震が発生したところ、土砂に埋まった車からの救助は、愛知県の発生も予想される。県警の広域緊急援助隊が機材を使ってドアを外し、車内に入り込んで救出した。

# 弥富ふ頭で防災訓練 地震と台風同時発生想定

大型台風の襲来と巨大地震を想定した「複合型防災訓練」(中部地方整備局主催)が二十一日、愛知県弥富市の名古屋港・弥富ふ頭で行われた。大地震と水害の



土砂に埋もれた車両から人命救助の訓練をする警察官(21日、愛知県弥富市の弥富ふ頭)

同時発生を想定した総合防災訓練は全国で初めて。愛知県は沿岸部に広大ななせろメートル地帯を抱えており、昨年夏に米国のハリケーンを想定した大型ハリケーンの被害なども教訓に、「最悪のシナリオを想定した。訓練には愛知県や地元自治体、陸上自衛隊などが参加。関係二十団体の約六百人が参加。「東海・東南海地震が発生し、高潮堤防が液化化で沈下したところへ、さらに一九五九年の伊勢湾台風級の超大型台風が接近中」との想定で午前九時に始まった。がれきで埋まった車からの救出、へりによる海上からの水害被災者つり上げなどの訓練を次々に繰り返した。

専門的立場で訓練に協力した辻本哲郎名古屋大学大学院教授(河川工学)は「複合型災害に対応するため、行政以外に地域や住民と連携していくことも重要な課題になる」と話していた。

# 災害対策用機械等 保有の状況

対策本部車	6台
待機支援車	4台
衛星通信車	6台
ヘリコプターまんなか号	1機
排水ポンプ車	14台
照明車	21台
応急組立橋	3橋
橋梁点検車	1台
小型画像電送装置(KU-SAT)	
車両排除装置	13基
ヘリテレ装置	
清掃兼油回収船等	2隻
	等

## 災害対策用機械保有状況一覧表

平成17年度末時点

災害対策機械名	規 格	数量	保管事務所
対策本部車	拡幅型	6台	静岡国道、浜松、天竜川上流、中部技術、木曾川上流、三重
待機支援車	発動発電機付	4台	沼津、飯田、中部技術、高山
衛星通信車	発電機付	6台	沼津、静岡国道、浜松、天竜川上流、中部技術、三重
小型画像伝送装置		—	本局他
ヘリコプター	ベル412EP型	1機	本局
排水ポンプ車	30m <sup>3</sup> /min	6台	静岡河川、天竜川上流、豊橋、庄内川、木曾川上流、三重
	40m <sup>3</sup> /min	5台	沼津、浜松×2、中部技術、木曾川下流
	60m <sup>3</sup> /min	3台	中部技術×3
照 明 車	15kVA, 4×4	1台	中部技術
	20kVA	5台	沼津、静岡国道、天竜川上流、豊橋、三重
	25kVA	13台	沼津、飯田、庄内川、中部技術×4、木曾川上流、岐阜、高山、木曾川下流、北勢、紀勢、
	55kVA, 4×4	1台	浜松河川国道
	60kVA, 4×4	1台	木曾川下流
橋梁点検車	歩廊式	1台	中部技術
応急組立橋	TL-20, 40m×6m	1橋	静岡国道
	40m×0.8m	—	静岡国道
	TL-20, 40m×8m	1橋	中部技術
	TL-25, 50m×7.5m	1橋	北勢国道
車両排除装置	2t未満	13個	静岡国道×8、浜松×2、中部技術、岐阜×2
浚渫兼油回収船		1隻	名古屋港湾
清掃兼油回収船		1隻	名古屋港湾